

韓国人学習者のための日本語の複合動詞*

－ JLPT日本語能力試験対策用のリスト作成－

李忠奎**

ch4229@hanmail.net

＜目次＞

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1. はじめに | 4.1 採集した複合動詞の延べ語数と異なり語数 |
| 2. 先行研究の概観 | 4.2 JLPT日本語能力試験対策用の複合動詞 |
| 3. 調査概要 | 4.2.1 頻度順による主なリスト |
| 3.1 調査対象 | 4.2.2 『日本語能力試験公式問題集』の複合動詞 |
| 3.2 調査方法と内容 | 4.2.3 本稿における主なJLPT用の複合動詞 |
| 4. 調査結果と分析 | 5. まとめと今後の課題 |

主題語: 複合動詞(Compound Verb)、JLPT日本語能力試験(Japanese-Language Proficiency Test)、複合動詞データベース(Compound Verb Database)、延べ語数(Token Frequency)、異なり語数(Type Frequency)

1. はじめに

韓国人学習者が日本語を流暢に駆使するために、正確な理解と十分な学習を必要とする項目に「彼を見直したよ」のような複合動詞の表現が挙げられる。そこで、日本語の複合動詞の効果的な指導・習得のために「韓国人学習者のための日本語の複合動詞」のリストを作成し、それについての分析を行うことは重要であると言える。このような認識のもとで李忠奎(2016)では、複合動詞研究者に要求される課題として、①韓国人中級学習者のための複合動詞、②韓国人上級学習者のための複合動詞、③JLPT日本語能力試験対策用の複合動詞、④JPT日本語能力試験対策用の複合動詞、⑤韓国人学習者が特に頻繁に接する複合動詞、⑥韓国人学習者が日本語らしい日本語を駆使するために必要な複合動詞、⑦上記①～⑥に全て含まれる複合動詞、の7つのリスト作成が必要であることを提案した。本稿は、こ

* This work was supported by the Ministry of Education of the Republic of Korea and the National Research Foundation of Korea (NRF-2015S1A5A8012828)

** 西原大学校 教養学部 助教授

これらのリストのうち、③JLPT日本語能力試験対策用(以下、JLPT用)の複合動詞のリストを作成しようとするものである¹⁾。

2. 先行研究の概観

JLPT日本語能力試験を分析材料として用いた研究としては、最新のものも含めて、권영성・김정혜(2010)、이도열(2012)、강소정・이정숙(2013)、永野亜季(2013)、조남성(2015)、趙恩英(2017)、정기영・이나경(2017)などが挙げられる。このうち、「公式問題集」の語彙と「韓国出版の問題集」の語彙を比較した永野亜季(2013)は、「分析方法と内容」という面で本稿の参考になる。しかし、上記の先行研究に日本語の複合動詞に関する言及は見当たらない。今まで調べた範囲では、JLPT用の複合動詞に焦点を当て、調査・分析したものはないようである。このような現状の中で、韓国人学習者を念頭においたJLPT用の複合動詞のリストを作成すれば、その成果は日本語の複合動詞に関する基礎資料として参考になるはずであり、教育現場においてのみならず、教材作成や辞書を編纂する際にも活用することができると思われる。本稿ではそのようなリスト作成を目指す。

3. 調査概要

3.1 調査対象

調査対象は、研究の目的上、1)JLPT用の書籍として認められていること、2)JLPT専門家の韓国人の著者が含まれており、韓国で出版されていること、3)韓国語訳が付されていること、4)知名度を考慮し、2版以上のものを原則とするが、初版の場合は2刷以上のもので

1) 当該の7つのリストのうち、④JPT日本語能力試験対策用の複合動詞については、李忠奎(2017)でそのリストの作成を試みた。本稿はその後続研究であり、従って、調査方法と分析の仕方は「原則として李忠奎(2017)のそれと同一」にした。その結果、内容的に李忠奎(2017)と重なるところがある。具体的には研究の連続性を示すために、最初の導入部分(韓国人学習者が必要であることを提案した)は、意図的に李忠奎(2017: 89-90)の内容と一致させており、また、3節以下の記述も部分的に李忠奎(2017)の内容と重複する。なお、紙面の都合上、①韓国人中級学習者のための複合動詞などの他のリストは、稿を改めて作成・分析することにする。

あること²⁾、の諸条件を満たすものとし、韓国の主要出版社を含めることと、後続研究で行われる冒頭の❶のような他のリストの作成も念頭において最終的には以下のようなものを選定した³⁾。なお、表におけるGは語彙集を、Mは問題集を意味する。

<表1> 調査対象の概要

番号	タイトル (略語)	著者	発行(最新号)	ページ	種類
1	일본어 어휘의 달인이 되는 법 (달인)	강성광	改訂3版(2014)	9~768	G
2	시나공 일본어 VOCA 15000 (시나공)	JPT초고수위원회	初版7刷(2015)	7~716	G
3	JLPT·JPT VOCA KING (KING)	김기범	改訂1刷(2012)	13~912	G
4	NEW 일본어 단어장 N1 N2 (NEW)	오쿠무라 유지 임단비	改訂1刷(2015)	9~399	G
5	내 손안에 NEW JLPT 합격 단어장 N1-N2 (합격)	황미진	初版2刷(2012)	9~392	G
6	JLPT N1 단어장 (단어장1)	송규원·이은혜	初版2刷(2015)	7~374	G
7	JLPT N2 단어장 (단어장2)	김숙경·우선희	初版1刷(2015)	7~361	G
8	JLPT N3 단어장 (단어장3)	신지윤·최민경	初版1刷(2015)	7~320	G
9	JLPT 한권으로 끝내기 보카 (끝내기)	김성곤	改訂1刷(2016)	13~557	G
10	한권으로 끝내는 JLPT VOCA N1·N2·N3 (VOCA)	강석기·허윤정	初版2刷(2015)	17~583	G
11	일본어능력시험 한권으로 끝내기 N1 (한권N1) 부록: 실전모의테스트 문제집 (한권실전N1)	이치우 北嶋千鶴子	改訂4版3刷(2016)	13~504 5~155	M
12	일본어능력시험 한권으로 끝내기 N2 (한권N2) 부록: 실전모의테스트 문제집 (한권실전N2)		改訂4版4刷(2016)	13~487 5~155	M
13	일본어능력시험 한권으로 끝내기 N3 (한권N3) 부록: 실전모의테스트 문제집 (한권실전N3)		改訂4版5刷(2016)	13~455 5~129	M
14	일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N1 (완벽N1) 부록: 정답 & 해설집 (완벽해설N1)	이승태·주종관	初版7刷(2015)	13~416 3~132	M
15	일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N2 (완벽N2) 부록: 정답 & 해설집 (완벽해설N2)	이신혜 스미유리카	初版6刷(2016)	13~433 3~107	M
16	일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N3 (완벽N3) 부록: 정답 & 해설집 (완벽해설N3)	신선화	初版8刷(2016)	13~335 3~107	M
17	N2 문자·어휘/문법 한번에 패스하기 (패스N2)	이장우	1版5刷(2014)	13~331	M
18	N3 문자·어휘/문법 한번에 패스하기 (패스N3)		1版2刷(2012)	13~317	M
19	N1 독해 한번에 패스하기 (독해N1)	이장우·高橋總	1版4刷(2015)	11~197	M
20	N2 독해 한번에 패스하기 (독해N2)		1版3刷(2013)	11~157	M
21	N3 독해 한번에 패스하기 (독해N3)	이장우	1版2刷(2015)	13~176	M
22	합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N1 (실전N1)	이종권	初版4刷(2016)	11~303	M
23	합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N2 (실전N2)		初版3刷(2016)	11~297	M
24	합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N3 (실전N3)		初版3刷(2015)	11~254	M
25	일본어능력시험 N1 실전 모의고사 시즌2 (모의N1) 부록: 정답 & 해설집 (모의해설N1)	성윤아·노주현	初版4刷(2015)	3~184 20~148	M
26	일본어능력시험 N2 실전 모의고사 시즌2 (모의N2) 부록: 정답 & 해설집 (모의해설N2)	이신혜	初版4刷(2016)	3~185 20~141	M
27	일본어능력시험 N3 실전 모의고사 시즌2 (모의N3) 부록: 정답 & 해설집 (모의해설N3)	신선화	初版3刷(2016)	3~202 22~158	M

2) 但し、初版1刷の書籍であっても、収録の内容から本稿の資料として選定する必要があると判断した場合は例外的に調査対象に含めることにする。ちなみに、これに該当するものは2冊であった。

3) N4とN5には複合動詞があまり生起しないので考察外とし、N1~N3対策用の書籍に限定した。

語彙集と問題集からなる全27冊で、調査するページの合計は11,518ページである。十分な量とはいえないが、本稿では上記の27冊を対象にして分析を行うことにする。

3.2 調査方法と内容

調査は李忠奎(2017)と同一のやり方、つまり、3.1の表1に示した書籍に生起する「動詞＋動詞型の複合動詞を有する例文とその韓国語訳」を抽出し、Excelを利用してデータベースを構築するという方法で行った。基本的に本稿では、1)同データベースを活用し、出現頻度に基づく計量的な観点から、また、2)『日本語能力試験公式問題集』(<http://www.jlpt.jp/samples/sample12.html>)に見られる複合動詞との比較も並行して、JLPT用のリスト作成を試みる。ちなみに、同データベースには、複合動詞の基本形(CV)・収録ページ(P)・CVの読み方(読み)・前項動詞(V1)・後項動詞(V2)・書籍の出版国(国)・用例の出典(出典)・冒頭の①～⑦のリスト番号(リスト)・各書籍における延べ語数(頻度1)・全書籍における延べ語数(頻度2)・原文の例文・原文の韓国語訳・容認可能な対応形(容認可能形)などの情報が収められており、その詳細と同データベースの意義に関しては、李忠奎(2017: 94-95)を参照されたい。なお、データベースを構築する際に、たとえば「呑み込む・飲み込む」「貼り付ける・張り付ける」のように複数の漢字表記が見られ、どちらか一方の形に統一させる必要があった場合は、基本的に野村雅昭・石井正彦(1987)の『複合動詞資料集』に従った。

4. 調査結果と分析

4.1 採集した複合動詞の延べ語数と異なり語数

今回の調査を通して得られた複合動詞は計7,267語であった。李忠奎(2017)の5,020語と比べると、2,247語を多く集めた結果となる。<表2>は各書籍における延べ語数と異なり語数を示したものである。

<表2> 各書籍における複合動詞の延べ語数と異なり語数

番号	タイトル (略語)	延べ語数	異なり語数
1	일본어 어휘의 달인이 되는 법 (달인)	665語	404語
2	시나공 일본어 VOCA 15000 (시나공)	803語	634語
3	JLPT・JPT VOCA KING (KING)	752語	319語
4	NEW 일본어 단어장 N1 N2 (NEW)	353語	248語
5	내 손안에 NEW JLPT 합격 단어장 N1-N2 (합격)	329語	237語
6	JLPT N1 단어장 (단어장1)	223語	162語
7	JLPT N2 단어장 (단어장2)	239語	156語
8	JLPT N3 단어장 (단어장3)	131語	86語
9	JLPT 한권으로 끝내기 보카 (끝내기)	284語	227語
10	한권으로 끝내는 JLPT VOCA N1・N2・N3 (VOCA)	357語	231語
11	일본어능력시험 한권으로 끝내기 N1 (한권N1) / (한권실전N1)	315語/152語	194語/113語
12	일본어능력시험 한권으로 끝내기 N2 (한권N2) / (한권실전N2)	208語/84語	124語/55語
13	일본어능력시험 한권으로 끝내기 N3 (한권N3) / (한권실전N3)	142語/41語	99語/24語
14	일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N1 (완벽N1) / (완벽해설N1)	317語/35語	198語/27語
15	일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N2 (완벽N2) / (완벽해설N2)	182語/22語	127語/19語
16	일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N3 (완벽N3) / (완벽해설N3)	136語/14語	75語/10語
17	N2 문자・어휘/문법 한번에 패스하기 (패스N2)	104語	80語
18	N3 문자・어휘/문법 한번에 패스하기 (패스N3)	31語	28語
19	N1 독해 한번에 패스하기 (독해N1)	193語	112語
20	N2 독해 한번에 패스하기 (독해N2)	89語	63語
21	N3 독해 한번에 패스하기 (독해N3)	48語	39語
22	합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N1 (실전N1)	161語	108語
23	합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N2 (실전N2)	115語	72語
24	합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N3 (실전N3)	71語	43語
25	일본어능력시험 N1 실전 모의고사 시즌2 (모의N1) / (모의해설N1)	211語/89語	141語/63語
26	일본어능력시험 N2 실전 모의고사 시즌2 (모의N2) / (모의해설N2)	144語/52語	84語/37語
27	일본어능력시험 N3 실전 모의고사 시즌2 (모의N3) / (모의해설N3)	90語/85語	58語/50語
合 計		7,267語	4,747語

各書籍における「異なり語数の単純な合計」は4,747語である。平均すると1冊당당りに約176語の複合動詞が収録されていることになる。冒頭の㉔JPT日本語能力試験対策用の複合動詞のために行った李忠奎(2017)の調査では、1冊당당りに約217語の複合動詞が収録されており、両調査に基づくと、JPT・JLPT日本語能力試験で高得点を取得するためには、目安として「少なくとも200語程度の複合動詞を熟知する必要がある」ということが言えそうである。この200語程度という数値を踏まえた上、次節では具体例について見てみることにする。

4.2 JLPT日本語能力試験対策用の複合動詞

前述した通り、用例収集の対象にしたのは、原則としてJLPT用の書籍として認められるものである。基本的に本稿では「そこで多く取り上げられるものほど、同試験に登場する可能性が高く、優先順位のJLPT用の具体例として認めることができる」と考える。そこで、以下では出現頻度を基準にして、また、『日本語能力試験公式問題集』に見られる複合動詞との比較も並行して、JLPT用のリストを作成する。なお、本稿におけるJLPT用の複合動詞は「韓国人日本語学習者のための基本語彙」と位置づけることができる⁴⁾。

4.2.1 頻度順による主なリスト

今回の調査で得られた複合動詞の異なり語数は計1,579語である。<表3>は複合動詞における頻度別異なり語数を示したものである。全27冊で1回しか生起していないものは762語で、最も頻繁に登場した1語は192回も現れた結果となる。

<表3> 複合動詞における頻度別異なり語数

頻度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
語数	762	258	132	89	46	40	30	27	22	24	17	6	13	9	8
頻度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
語数	15	5	5	4	8	3	3	3	1	1	1	3	4	5	4
頻度	31	32	33	36	37	40	42	44	45	52	53	55	56	58	65
語数	3	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1
頻度	66	67	69	71	91	99	107	192	複合動詞の延べ語数：7,267語						
語数	2	1	1	3	1	1	1	1	複合動詞の異なり語数：1,579語						

<表4>は頻度23まで、すなわち、頻度順第1位から第51位までの53語の複合動詞を示した

4) 基本語彙と基礎語彙については、以下を参照されたい。

膨大な日本語の語彙の中から基本的な語を選び出して基本語彙とすることがある。このようは語はたとえば日本語学習者の語学教育で優先的に学ぶ指標となるなど、ある目的を持って選定される。(中略) 基本語彙と似た概念に基礎語彙というものもある。これは、日常の言語生活が一通りまかなえる最小限の語を一定の数だけ系統的に選び出したもので、土居光知氏の「基礎日本語」(1,000語)などがあげられる。基礎語彙は主観的に選ばれた語であるが、必要不可欠だと絞り込まれた中核的な語であるため、時代の変化を受けにくく学習者の目的を問わない。基本語彙の場合は、たとえば小説の基本語彙であるとか、理工系学習者のための基本語彙であるとか、それぞれ目的を持って選定されるところが異なる。(荻野綱男2007：47-48)

ものである。括弧内の左側の数字は採集できた出典の異なり語数を、右側の数字は表3の頻度を表したもので、第1位の「出掛ける」の場合、25冊の書籍で合計192回登場したことになる。出典の異なり語数の平均で言えば、表4の各例は17.4冊の書籍で生じた計算になる。

<表4> 頻度順第1位から第51位までの53語の複合動詞リスト

順位	複合動詞	順位	複合動詞	順位	複合動詞
1	出掛ける(25/192)	19	取り上げる(17/45)	36	似合う(15/29)
2	見つける(26/107)	20	差し上げる(21/44)		成り立つ(15/29)
3	見つか(24/99)		見直す(20/44)		飲み過ぎる(15/29)
4	思い出す(23/91)	22	落ち込む(19/42)		出来上がる(14/29)
5	受け取る(20/71)	23	見送る(16/40)	41	見合わせる(10/28)
	繰り返す(23/71)	24	飛び出す(17/37)		見詰める(13/28)
	出会う(23/71)	25	降り出す(16/36)		恐れ入る(13/28)
8	申し込む(21/69)		売り出す(11/36)		仕上げる(15/28)
9	引き受ける(20/67)	27	召し上がる(19/33)	45	当て嵌まる(14/27)
10	落ち着く(23/66)	28	生み出す(15/32)		引っ張る(12/27)
	話し合う(24/66)	29	乗り越える(14/31)		呼び掛ける(15/27)
12	申し上げる(21/65)		作り出す(13/31)	48	見逃す(15/26)
13	付き合う(21/58)		話し掛ける(18/31)	49	泣き出す(14/25)
14	受け入れる(20/56)	32	見掛ける(19/30)	50	打ち込む(11/24)
	支払う(20/56) ⁵⁾		売り切れる(15/30)	51	飛び込む(16/23)
16	引っ越す(18/55)		あり得る(16/30)		取り扱う(14/23)
17	取り組む(20/53)		引き起こす(16/30)		取り出す(16/23)
18	取り入れる(19/52)	36	立ち上がる(13/29)		

また<表5>は、頻度14まで、すなわち、頻度順第54位から第105位までの60語の複合動詞を表したものである。出典の異なり語数の平均で言えば、<表5>の各例は10.5冊の書籍で登場したことになる。

5) 念のために補足するが、「支払う」は形態論的に二つの動詞に分解することができ、『複合動詞資料集』(野村雅昭・石井正彦1987)と『Webデータに基づく複合動詞用例データベース』(国立国語研究所2012)にも収録されている。ちなみに、森山卓郎(1988:45)の複合動詞の定義も併せて参照されたい。

<表5> 頻度順第54位から第105位までの60語の複合動詞リスト

順位	複合動詞	順位	複合動詞	順位	複合動詞
54	巻き込む(10/22)	72	振り返る(10/18)	82	追い付く(11/16)
	言い出す(14/22)		取り除く(12/18)		通り過ぎる(12/16)
	差し支える(14/22)		取り替える(12/18)		割り込む(11/16)
57	買い換える(8/21)	77	見出だす(11/17)	97	乗り換える(9/15)
	盛り上がる(10/21)		立ち寄る(12/17)		引き上げる(9/15)
	取り付ける(12/21)		押し寄せる(10/17)		引き下げる(10/15)
60	見上げる(10/20)		引き取る(8/17)		組み立てる(11/15)
	結び付く(12/20)	82	振り向く(11/17)		持ち帰る(10/15)
	引き替える(9/20)		見舞う(9/16)		持ち上げる(10/15)
	引き出す(13/20)		見習う(9/16)		取り寄せる(11/15)
	組み合わせる(13/20)		仕入れる(11/16)		取り戻す(11/15)
	酔っ払う(10/20)		受け継ぐ(11/16)	105	遣り遂げる(10/14)
	取り消す(14/20)		受け付ける(13/16)		見渡す(12/14)
	打ち明ける(9/20)		受け止める(12/16)		見込む(6/14)
68	問い合わせる(10/19)		乗り出す(10/16)		突っ込む(7/14)
	見詰める(11/19)		申し出る(10/16)		聞き取る(6/14)
	歩き回る(10/19)		引き摺る(9/16)		溶け込む(8/14)
	思い付く(14/19)		切り替える(13/16)		引っ掛かる(8/14)
72	食べ過ぎる(12/18)		持ち歩く(11/16)		振り込む(9/14)
	作り上げる(8/18)		打ち込む(9/16)		着替える(11/14)

さらに<表6>は、頻度10まで、すなわち、頻度順第114位から第150位までの60語の複合動詞を表したものである。具体例における括弧内の数字は採集できた出典の異なり語数を表し、出典の異なり語数の平均で言えば、<表6>の各例は7.1冊の書籍で現れたことになる。

<表6> 頻度順第114位から第150位までの60語の複合動詞リスト

頻度	複合動詞
頻度13 (13語)	生き残る(7)、追い掛ける(9)、押し切る(9)、押し付ける(8)、食い違ふ(10)、差し出す(8)、仕立てる(6)、知り合う(9)、突き当たる(7)、取り巻く(8)、乗り切る(9)、持ち出す(7)、遣り直す(8)
頻度12 (6語)	思い込む(11)、駈け付ける(9)、辿り着く(11)、突っ張る(6)、引き締まる(7)、引っ繰り返す(9)
頻度11 (17語)	有り触れる(8)、言い切る(8)、言い付ける(6)、追い込む(8)、貸し出す(8)、差し掛かる(7)、立て替える(8)、取り込む(6)、取り締まる(10)、取り次ぐ(6)、逃げ出す(7)、張り切る(8)、引き継ぐ(8)、引っ繰り返る(8)、引っ込む(7)、踏み切る(5)、寄り掛かる(7)
頻度10 (24語)	追い越す(8)、書き直す(10)、噛み付く(6)、食い止める(7)、静まり返る(4)、透き通る(8)、立ち上げる(6)、立ち直る(5)、立ち向かう(5)、建て替える(2)、取り掛かる(9)、取り付く(4)、乗っ取る(7)、働き続ける(7)、引き付ける(6)、引っ掛ける(3)、踏み込む(5)、振り回す(3)、見失う(8)、見計らう(6)、行き届く(5)、呼び出す(8)、読み取る(4)、遣り付ける(7)

以上、調査の具体的な結果として、頻度順に「合計173語」の複合動詞を適宜「3つのグループ」に分けて提示した。ちなみにこれは、1)前編(李忠奎2017)との連続性の確保、2)本稿の調査結果の反映、3)先行研究の参考、という3点を総合的に考慮した上での示し方である。

(1) a. 前編(李忠奎2017)との連続性の確保：

李忠奎(2017：102-104)の「頻度順に合計156語の複合動詞を適宜3つのグループに分けて提示した」こと

b. 本稿の調査結果の反映：

4.1の「平均すると1冊当たり約176語の複合動詞が収録されていることになる」ということ

c. 先行研究の参考：

張威(2010：78)の「日本語教育でどんな複合動詞の語彙をどれくらい導入すればよいかを考える際、学習者のニーズと条件に合わせて上位100語、上位200語、上位300語を選択して計画的に教えれば、当面では極めて深刻である複合動詞の使い方が分からないという非母語話者学習者の問題はかなり緩和することが可能であろう」という指摘(下線は引用者による)

李忠奎(2017：107)においても指摘した通り、このような類の研究はどのぐらいのリストをどのような形で提示すればよいのかという問題、つまり、提示する語の「範囲」と「示し方」の問題が必然的に発生する。従って、上記の3つのグループ分けと173語の提示はあくまでも便宜的なものに過ぎない。しかし、<表4>～<表6>の具体例を通して、JLPT対策用の書籍に相対的に頻出する複合動詞が把握できる、という点は一定の成果と言えよう。これらが複合動詞を指導する側や学習する側のレベルやニーズ・目的に合わせて適切に活用されれば、参考資料としての役割は果たせるだろう。

4.2.2 『日本語能力試験公式問題集』の複合動詞

JLPT公式ホームページには、2010年と2011年に実際に出題した試験問題の中から、各レベルとも試験1回分に相当する数の問題が載っている。これは2010年の改定後の日本語能力試験についての初めての公式問題集であり(<http://www.jlpt.jp/samples/sample12.html>)、N3～N1の各問題集に見られる複合動詞を抽出してその具体例を提示したのが以下の表である。

<表7> 『日本語能力試験公式問題集』の各級に見られる複合動詞

級	延べ	異なり	具体例(延べ語数)
N3	23語	16語	言い出す、受け入れる、思い出す(7)、書き出す、支払う、作り続ける、出掛ける、似合う、話し合う、話し掛ける、見送る、見つける(2)、召し上がる、持ち歩く、持ち続ける、遣り直す
N2	51語	39語	言い出す、受け入れる、受け取る(2)、描き表す(4)、追い付く(2)、大きくなり過ぎる、送り出す、落ち込む、思い出す(3)、書き直す、感じ取る、感じ始める、組み替える、汲み取る、仕上げる、支払う(2)、締め括る、しょげ返る、使い過ぎる、付き合う、出来上がる、出回る、問い合わせる、取り上げる、取り除く、吐き出す、話し掛ける(2)、話し始める、引き受ける、振り返る、学び取る、見出だす、見つかる(2)、見つける(2)、見直す、見慣れる、向かい合う、読み取る(2)、申し上げる
N1	93語	76語	有り過ぎる、入れ替わる、植え付ける、受け継ぐ、受け付ける、動き回る、打ち解ける、移り住む、生み出す、追い付く、置き忘れる、恐れ入る、落着く、折り畳む、書き直す、乾き切る、考え込む、考え始める、競い合う、切り捨てる、切り取る、組み立てる、割り貫く、凝り固まる、仕付ける、知り得る、知り抜く、住み慣れる、耕し始める、立ち上がる、断ち切る、散り行く、突き止める、作り出す、積み込む、詰め掛ける、出来上がる(3)、照らし合わせる、問い合わせる(2)、閉じ込む、飛び乗る、捉え直す、取り上げる、取り入れる(2)、取り組む(3)、取り消す、取り出す、取り巻く、取り戻す、飲み込む(2)、飲み過ぎる(2)、乗り越える、乗り出す(3)、走り続ける、走り始める、引き受ける、引き起こす、引き込む、引き継ぐ(2)、嘔き出す、踏み切る、踏み込む、振り込む、巻き込む、学び取る、見出だす(2)、見極める、見込む、見過ごす、見つかる、見つける(2)、見直す、向き合う、結び付く(4)、申し上げる、割り引く(2)

このように整理すると、級が上がるにつれ、複合動詞の登場回数が増えることが明示的に把握でき、N1の資格を取得するためには、複合動詞に対する対策を徹底する必要があることも窺える。

<表8> 『日本語能力試験公式問題集』の各級に共通する複合動詞

区分	具体例
N3とN2とN1に共通するもの	見つける (1語)
N3とN2に共通するもの	言い出す、受け入れる、思い出す、支払う、話し掛ける (5語)
N2とN1に共通するもの	追い付く、書き直す、出来上がる、問い合わせる、取り上げる、引き受ける、学び取る、見出だす、見つかる、見直す、申し上げる (11語)

<表8>は<表7>の各級に共通する複合動詞を提示したものであり、韓国国内の日本語教育

現場で複合動詞を指導する際に一つの参考資料として活用することが可能であろう⁶⁾。

4.2.3 本稿における主なJLPT用の複合動詞

特定の目的に合うリストを選定する過程においては、「出題基準のリスト」との対照と「過去問題に見られるリスト」との対照が必要であり、この二つの対照を通して選定されたリストの客観性が確保できるようになると思われる⁷⁾。周知の通り、JLPTの出題基準は公開されていない⁸⁾。このような現状の中で、<表7>の『日本語能力試験公式問題集』に見られる複合動詞は、過去問題に見られるリストとして見做すことができ、参考になる。

そこで、4.2.1の173語と<表7>の113語(異なり語数)と一致するものを提示したのが以下の例である。なお、提示は4.2.1の頻度順による。

- (2) 出掛ける、見つける、見つかる、思い出す、受け取る、引き受ける、落ち着く、話し合う、申し上げる、付き合う、受け入れる、支払う、取り組む、取り入れる、取り上げる、見直す、落ち込む、見送る、召し上がる、生み出す、乗り越える、作り出す、話し掛ける、引き起こす、立ち上がる、似合う、飲み過ぎる、出来上がる、恐れ入る、仕上げる、取り出す、巻き込む、言い出す、結び付く、取り消す、問い合わせる、振り返る、取り除く、見出だす、受け継ぐ、受け付ける、乗り出す、持ち歩く、追い付く、組み立てる、取り戻す、見込む、振り込む、遣り直す、取り巻く、踏み切る、引き継ぐ、踏み込む、読み

6) 筆者の経験と今までの聞き込み調査からすると、韓国国内の日本語教育現場で複合動詞を学習項目として取り扱う機会はありません。このような現状の中で、もし、複合動詞を指導する機会が確保できれば、まず、学習者のレベルに合わせて表8の具体例を提示し、その後は学習者自身のレベルやニーズに合わせて表4～表6の具体例を学習するように指導することも1つの方法になるだろう。

7) リストの客観性確保に関するこの考え方は、匿名の審査委員からのコメントを援用したものである。

8) 同試験の出題基準に関して、堀・李・長谷部(2016: 276)は「長らく日本語教育において教えるべき文法の目安とされてきた日本語能力試験(以下、JLPT)の『日本語能力試験出題基準』(以下、旧『出題基準』)が改定され、非公開となった。JLPTは1984年から実施されており、2014年には世界で60万人近くが受験している。1994年に旧『出題基準』が公開されて以来、そこに挙げられた項目はJLPT受験のためだけでなく、より広くシラバスの基準として扱われてきた。また、日本語教育学研究においても参考にされてきた。しかし、2010年のJLPT改定にともなって新たな出題基準は非公開となり(引用者による微修正有り)のように述べている。また、JLPT公式ホームページの、よくある質問「2010年に試験が改定されてから、『出題基準』が非公開になったのはなぜですか」の項には「日本語学習の最終目標は、語彙や漢字、文法項目を暗記するだけではなく、それらをコミュニケーションの手段として実際に利用できるようになることだと考えています。日本語能力試験では、その考え方から、「日本語の文字・語彙・文法といった言語知識」と共に、「その言語知識を利用して、コミュニケーション上の課題を遂行する能力」を測っています。そのため、語彙や漢字、文法項目のリストが掲載された『出題基準』の公開は必ずしも適切ではないと判断しました」となっている。

取る、書き直す (55語)

(2)の複合動詞は、本稿の調査を通して高頻出のものとして認められただけではなく、過去問題として見なされる『日本語能力試験公式問題集』に生起する複合動詞とも一致するものでもあるので、重要な語として認めることができる。本稿では、(2)の55語の複合動詞を「頻度順」と「公式問題集との一致度」という観点から他の複合動詞より相対的に重要な③ JLPT用の複合動詞として位置づけたい。

<表9> 李忠奎(2017)と本稿で選定した重要なリスト

李忠奎(2017)で選定した重要なJPT用の複合動詞リスト(48語)	JLPT用の複合動詞(38語)
歩き回る、受け止める、押し付ける、思い付く、考え込む、繰り返す、差し出す、出会う、通り過ぎる、泣き出す、成り立つ、逃げ出す、乗り込む、飛び込む、飛び出す、取り込む、取り付ける、引き摺る、引き出す、引っ越す、引っ張る、振り向く、見上げる、見合わせる、見下ろす、見詰める、見守る、見渡す、持ち上げる、持ち出す、呼び掛ける	受け継ぐ、受け付ける、生み出す、追いつく、恐れ入る、落ち込む、書き直す、組み立てる、仕上げる、支払う、付き合う、作り出す、問い合わせる、取り組む、取り消す、取り除く、取り巻く、取り戻す、似合う、飲み過ぎる、乗り越える、乗り出す、引き受ける、引き起こす、引き継ぐ、踏み切る、踏み込む、振り込む、巻き込む、見出だす、見込む、見つかる、結び付く、召し上がる、申し上げる、持ち歩く、やり直す、読み取る
JPT用の複合動詞(31語)	李忠奎(2017)と本稿の共通するリスト(17語)
	言い出す、受け入れる、受け取る、落ち着く、思い出す、立ち上がる、出掛ける、出来上がる、取り上げる、取り入れる、取り出す、話し合う、話し掛ける、振り返る、見送る、見つける、見直す
	本稿で選定した重要なJLPT用の複合動詞リスト(55語)

また、<表9>は前編の研究成果を生かすべく、李忠奎(2017)と本稿で選定した重要なJPT用・JLPT用の複合動詞を一致するものとし、ないものに区別して五十音順に提示したものであり、このように整理してみると、それぞれの試験により適した複合動詞が明示的に把握できるようになる。

- (3) 言い出す、受け入れる、受け取る、落ち着く、思い出す、立ち上がる、出掛ける、出来上がる、取り上げる、取り入れる、取り出す、話し合う、話し掛ける、振り返る、見送る、見つける、見直す

数多くの複合動詞の中でも、(3)の17語は相対的により重要なJPT・JLPT用の複合動詞として注目するに値するだろう。両試験の指導や受験者の自己学習に少しでも役立てられることを期待する。

5. まとめと今後の課題

本稿は「韓国入学者のための日本語の複合動詞」に関する研究の一環として、③JLPT用の複合動詞のリスト作成を試みたものである。その結果、JLPT用の書籍に見られる高頻度のものとして以下の173語を提示した。

<表10> JLPT用の書籍から採集した頻度順の上位ランキングの複合動詞

表4の 53語	出掛ける、見つける、見つかる、思い出す、受け取る、繰り返す、出会う、申し込む、引き受ける、落ち着く、話し合う、申し上げる、付き合う、受け入れる、支払う、引越す、取り組む、取り入れる、取り上げる、差し上げる、見直す、落ち込む、見送る、飛び出す、降り出す、売り出す、召し上がる、生み出す、乗り越える、作り出す、話し掛ける、見掛ける、売り切れる、あり得る、引き起こす、立ち上がる、似合う、成り立つ、飲み過ぎる、出来上がる、見合わせる、見詰める、恐れ入る、仕上げる、当て嵌まる、引っ張る、呼び掛ける、見逃す、泣き出す、打ち込む、飛び込む、取り扱う、取り出す
表5の 60語	巻き込む、言い出す、差し支える、買い換える、盛り上がる、取り付ける、見上げる、結び付く、引き替える、引き出す、組み合わせる、酔っ払う、取り消す、打ち明ける、問い合わせる、見詰める、歩き回る、思い付く、食べ過ぎる、作り上げる、振り返る、取り除く、取り替える、見出だす、立ち寄る、押し寄せる、引き取る、振り向く、見舞う、見習う、仕入れる、受け継ぐ、受け付ける、受け止める、乗り出す、申し出る、引き摺る、切り替える、持ち歩く、打ち込む、追い付く、通り過ぎる、割り込む、乗り換える、引き上げる、引き下げる、組み立てる、持ち帰る、持ち上げる、取り寄せる、取り戻す、遣り遂げる、見渡す、見込む、突っ込む、聞き取る、溶け込む、引っ掛かる、振り込む、着替える
表6の 60語	生き残る、追い掛ける、押し切る、押し付ける、食い違う、差し出す、仕立てる、知り合う、突き当たる、取り巻く、乗り切る、持ち出す、遣り直す、思い込む、駆け付ける、辿り着く、突っ張る、引き締まる、引っ繰り返す、有り触れる、言い切る、言い付ける、追い込む、貸し出す、差し掛かる、立て替える、取り込む、取り締まる、取り次ぐ、逃げ出す、張り切る、引き継ぐ、引っ繰り返る、引っ込む、踏み切る、寄り掛かる、追い越す、書き直す、噛み付く、食い止める、静まり返る、透き通る、立ち上げる、立ち直る、立ち向かう、建て替える、取り掛かる、取り付く、乗っ取る、働き続ける、引き付ける、引っ掛ける、踏み込む、振り回す、見失う、見計らう、行き届く、呼び出す、読み取る、遣っ付ける

また、表10の173語と『日本語能力試験公式問題集』のN1~N3に生起する複合動詞との一致度という観点から、以下の55語の複合動詞を他の複合動詞より相対的に重要な③JLPT用の複合動詞として位置づけた。このうち、下線を施したものは、李忠奎(2017)のJPT用の主なリストとも一致するものであり、本稿ではこれらを相対的により重要なJPT・JLPT用の複合動詞と認めた。

〈表11〉本稿で選定した重要なJLPT用の複合動詞

CV (55語)	<u>出掛ける</u> 、 <u>見つける</u> 、 <u>見つかる</u> 、 <u>思い出す</u> 、 <u>受け取る</u> 、 <u>引き受ける</u> 、 <u>落ち着く</u> 、 <u>話し合う</u> 、 <u>申し上げる</u> 、 <u>付き合う</u> 、 <u>受け入れる</u> 、 <u>支払う</u> 、 <u>取り組む</u> 、 <u>取り入れる</u> 、 <u>取り上げる</u> 、 <u>見直す</u> 、 <u>落ち込む</u> 、 <u>見送る</u> 、 <u>召し上がる</u> 、 <u>生み出す</u> 、 <u>乗り越える</u> 、 <u>作り出す</u> 、 <u>話し掛ける</u> 、 <u>引き起こす</u> 、 <u>立ち上がる</u> 、 <u>似合う</u> 、 <u>飲み過ぎる</u> 、 <u>出来上がる</u> 、 <u>恐れ入る</u> 、 <u>仕上げる</u> 、 <u>取り出す</u> 、 <u>巻き込む</u> 、 <u>言い出す</u> 、 <u>結び付く</u> 、 <u>取り消す</u> 、 <u>問い合わせる</u> 、 <u>振り返る</u> 、 <u>取り除く</u> 、 <u>見出す</u> 、 <u>受け継ぐ</u> 、 <u>受け付ける</u> 、 <u>乗り出す</u> 、 <u>持ち歩く</u> 、 <u>追い付く</u> 、 <u>組み立てる</u> 、 <u>取り戻す</u> 、 <u>見込む</u> 、 <u>振り込む</u> 、 <u>遣り直す</u> 、 <u>取り巻く</u> 、 <u>踏み切る</u> 、 <u>引き継ぐ</u> 、 <u>踏み込む</u> 、 <u>読み取る</u> 、 <u>書き直す</u>
-------------	---

筆者は、韓国人学習者を念頭において作成した複合動詞専用の教材が必要であるという認識を持っており、今後の課題として『韓国人学習者のための日本語の複合動詞』(仮題)という複合動詞に特化した教材を作成しようと考えている(李忠奎2015: 190-191)。その際に、本稿で構築したデータベースに収録されている諸情報と4.2で提示した各リストは有効活用が可能であり、資料提供という意味で同データベースと各リストは一定の研究成果として評価することができると思われる。

今後引き続き、冒頭の①・②・⑤・⑥・⑦のリストを作成する予定であり、その過程において、複合動詞データベースの完成度を高めることと、各リストの有効性の検証の2点は重要な課題になる。

〈謝辞〉 本稿は韓国日本近代学会第35回国際学術大会(2017年5月13日、於한밭大学校)で発表した内容を基に作成したものである。発表の席上や論文作成の過程において、有益なご教示をくださった先生方々に厚く御礼申し上げたい。

【参考文献】

- 강소정・이정숙(2013)「일본어 교육에 있어서의 오노마토펙 사용 실태 조사—일본어 관련 시험과의 비교를 통하여—」『日本語学研究』第38輯, 단국대학교 일본연구소, pp.345-365
- 권영성・김정혜(2010)「레벨 N1, N2를 중심으로 한 개정 일본어능력시험대비 수험서 분석」『韓日語文論集』第14輯, 韓日語日文学会, pp.5-36
- 이도열(2012)「일본어능력 평가시험간의 비교척도 고찰—JLPT N1 레벨과 EJU 일본어 득점에 대한 비교척도 분석을 중심으로—」『日本語文学』第52輯, 韓国日本語文学会, pp.55-77
- 정기영・이나경(2017)「일본어검정시험(J.TEST와 JLPT) 최근 5년간 평균점수」『한국어언문학회 2017년 하계국제학술대회—발표논문집—』韓國日語日文学会, pp.138-140
- 조남성(2015)「한국인 일본어학습자의 JLPT 수준별, 활용상의 오용 정정의 분석과 활용」『日本語学研究』45,

한국어학회, pp.85-101

李忠奎(2015)「복합동사に関する日韓対照研究の現状と課題」『日本語文学』第65輯、韓国日本語学会、pp.167-195

_____ (2016)「한국어에서 본 일본어 복합동사－回顧と今後の課題－」『日本語文学』第68輯、韓国日本語学会、pp.83-110

_____ (2017)「한국어 학습자를 위한 일본어 복합동사－JPT日本語能力試験対策用のリスト作成－」『日本文化学報』第73輯、韓国日本文化学会、pp.89-109

萩野綱男(2007)『現代日本語入門』明治書院、pp.47-48

国立国語研究所(2012)『Webデータに基づく複合動詞用例データベース』(<http://csd.ninjal.ac.jp/comp/>)

張威(2010)「高校国語教科書に対する複合動詞の実態調査とその分析－第二言語習得学習ストラテジーの改善をめざして－」『岩大語文』15、岩手大学語文学会、pp.89-73

趙恩英(2017)「新日本語能力試験N1における副詞の出現傾向について－公式問題集を中心に－」『韓国日本文化学会第52回國際學術大會予稿集』韓国日本文化学会、pp.93-98

永野亜季(2013)「新JLPT問題集レベルN1における語彙調査－公式問題集と韓国出版の問題集を比較して－」『日本語文学』第60輯、日本語学会、pp.87-108

野村雅昭・石井正彦(1987)『複合動詞資料集』国立国語研究所

堀恵子・李在鎬・長谷部陽一郎(2016)「機能語用例文データベース「はごろも」について」『計量国語学』30巻5号、計量国語学会、pp.275-285

森山卓郎(1988)『日本語動詞述語文の研究』明治書院、p.45

【用例採集資料】(略語)

강성광(2014)『일본어 어휘의 달인이 되는 법』(달인) 사람in

JPT초고수위원회(2015)『시나공 일본어 VOCA 15000』(시나공) 길벗

김기범(2012)『JLPT·JPT VOCA KING』(KING)성안당

오쿠무라 유지·임단비(2015)『NEW 일본어 단어장 N1 N2』(NEW) 예스북

황미진(2012)『내 손안에 NEW JLPT 합격 단어장』N1-N2(합격) 넥서스

송규원·이윤혜(2015)『JLPT N1 단어짱』(단어짱1) 시사

김숙경·우선희(2015)『JLPT N2 단어짱』(단어짱2) 시사

신지윤·최민경(2015)『JLPT N3 단어짱』(단어짱3) 시사

김성곤(2016)『JLPT 한권으로 끝내기 보카』(끝내기) 다락원

강석기·허윤정(2015)『한권으로 끝내는 JLPT VOCA N1·N2·N3』(VOCA) YBM

이치우·北嶋千鶴子(2016)『일본어능력시험 한권으로 끝내기 N1/부록: 실전모의테스트 문제집』(한권N1/한권실전N1) 다락원

_____ (2016)『일본어능력시험 한권으로 끝내기 N2/부록: 실전모의테스트 문제집』(한권N2/한권실전N2) 다락원

_____ (2016)『일본어능력시험 한권으로 끝내기 N3/부록: 실전모의테스트 문제집』(한권N3/한권실전N3) 다락원

이승대·주종관(2015)『일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N1/부록: 정답 & 해설집』(완벽N1/완벽해설N1) 길벗

이신혜·스미유리카(2016)『일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N2/부록: 정답 & 해설집』(완벽N2/완벽해설N2) 길벗

신선화(2016)『일본어능력시험 한권으로 완벽대비 N3/부록: 정답 & 해설집』(완벽N3/완벽해설N3) 길벗

이장우(2014)『N2 문자·어휘/문법 한번에 패스하기』(패스N2) 시사

- _____(2012)『N3 문자·어휘/문법 한번에 패스하기』(패스N3) 시사
 이장우·高橋 繪(2015)『N1 독해 한번에 패스하기』(독해N1) 시사
 _____(2013)『N2 독해 한번에 패스하기』(독해N2) 시사
 이장우(2015)『N3 독해 한번에 패스하기』(독해N3) 시사
 이종권(2016)『합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N1』(실전N1) 다락원
 _____(2016)『합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N2』(실전N2) 다락원
 _____(2015)『합격하길 바래! JLPT 실전모의고사 N3』(실전N3) 다락원
 성윤아·노주현(2015)『일본어능력시험 N1 실전 모의고사 시즌2/부록 : 정답 & 해설집』(모의N1/모의해설N1) 길벗
 이신혜(2016)『일본어능력시험 N2 실전 모의고사 시즌2/부록 : 정답 & 해설집』(모의N2/모의해설N2) 길벗
 신선화(2016)『일본어능력시험 N3 실전 모의고사 시즌2/부록 : 정답 & 해설집』(모의N3/모의해설N3) 길벗

【その他】

JLPT公式ホームページ『日本語能力試験公式問題集』(<http://www.jlpt.jp/samples/sample12.html>)

논문투고일 : 2017년 06월 20일
 심사개시일 : 2017년 07월 17일
 1차 수정일 : 2017년 08월 03일
 2차 수정일 : 2017년 08월 10일
 게재확정일 : 2017년 08월 17일

＜要旨＞

韓国人学習者のための日本語の複合動詞

－ JLPT日本語能力試験対策用のリスト作成 －

李忠奎

本稿は「韓国人学習者のための日本語の複合動詞」に関する研究の一環として、「JLPT日本語能力試験対策用の複合動詞」のリスト作成を試みたものである。その結果、以下の55語の複合動詞を重要な例として選定した。

出掛ける、見つける、見つかる、思い出す、受け取る、引き受ける、落ち着く、話し合う、申し上げる、付き合う、受け入れる、支払う、取り組む、取り入れる、取り上げる、見直す、落ち込む、見送る、召し上がる、生み出す、乗り越える、作り出す、話し掛ける、引き起こす、立ち上がる、似合う、飲み過ぎる、出来上がる、恐れ入る、仕上げる、取り出す、巻き込む、言い出す、結び付く、取り消す、問い合わせる、振り返る、取り除く、見出だす、受け継ぐ、受け付ける、乗り出す、持ち歩く、追いつく、組み立てる、取り戻す、見込む、振り込む、遣り直す、取り巻く、踏み切る、引き継ぐ、踏み込む、読み取る、書き直す

上記の55語は、本稿の計量調査を通して高頻出のものとして認定された上に、過去問題として見なされる『日本語能力試験公式問題集』に生起する複合動詞とも一致するものであるので、他の複合動詞に比べて相対的により重要な語といえる。これらは韓国人日本語学習者を対象とした複合動詞の指導・学習や教材作成などにおいて参考資料として活用できるだろう。

Japanese Compound Verbs for Korean Learners

－ A List of Compound Verbs for Japanese-Language Proficiency Test －

Lee, Chung-Kyu

The purpose of this paper is to make a list of compound verbs for Japanese-Language Proficiency Test (JLPT). As a result, the following 55 important Japanese compound verbs are selected for JLPT.

de-kakeru, mi-tukeru, mi-tukaru, omoi-dasu, uke-toru, hiki-ukeru, oti-tuku, hanasi-au, mousi-ageru, tuki-au, uke-ireru, si-harau, tori-kumu, tori-ireru, tori-ageru, mi-naosu, oti-komu, mi-okuru, mesi-agaru, umi-dasu, nori-koeru, tukuri-dasu, hanasi-kakeru, hiki-okosu, tati-agaru, ni-au, nomi-sugiru, deki-agaru, osore-iru, si-ageru, tori-dasu, maki-komu, ii-dasu, musubi-tuku, tori-ketu, toi-awaseru, huri-kaeru, tori-nozoku, mi-idasu, uke-tugu, uke-tukeru, nori-dasu, moti-aruku, oi-tuku, kumi-tateru, tori-modosu, mi-komu, huri-komu, yari-naosu, tori-maku, humi-kiru, hiki-tugu, humi-komu, yomi-toru, kaki-naosu

Based on the result, this paper suggests that the compound verbs illustrated above can be available for Japanese education and textbook writing.